２０２５年（令和７年）１２月１１日　木曜日
日刊建設新聞

宇工高へ資材を寄贈

生徒に練習の機会を

宇管工

中村理事長（右）から石島校長へ練習用資材を贈呈

宇都宮市管工事業協同組合（中村勝理事長）は8日、県立宇都宮工業高校（石島祐太郎校長）に教材用の配管材料（70万円相当）を寄贈した。この活動は毎年実施しており、今回が14回目となる。提供した資材は、環境設備科の生徒が受験する配管技能士試験の実技科目である建築配管作業の練習に使われる。

寄贈した資材は、鋼管や塩ビ管、各種継手類など。資材価格高騰の影響を大きく受けているが、これまでと同様、学校の要望に応じて必要量を確保し、中村理事長らが同校を訪れ、石島校長に受け渡した。

石島校長は「毎年のご協力に感謝する。生徒たちの技能向上、地域産業への貢献につなげていきたい」と話した。また中村理事長は「最近は物価高騰で大変なことも多々あるが、我々ができることはやはり教材の支給。是非この材料を利用していただいて、一人でも多くの方々に、受験に合格してほしい」と話した。

同組合では、技能配管技能検定に向け、学生が練習を十分に行えるよう、教材を提供している。練習回数は1人あたり4～5回程度で、これが合格率向上に寄与している。なお同校環境設備科では2級に3人、3級に33人の生徒が受験を予定している。